

# 瀬戸内海の漁業

瀬戸内海は、古来より豊かな海の幸に恵まれ、我が国沿岸漁業の先進地として多様な漁業形態が発達しています。特に海面養殖業及び栽培漁業については、その発祥の地として極めて重要な役割を果たしています。我が国漁業生産額の約1/4を占める当事務所管内の漁業の一層の進展を図ることは、水産業の健全な発展を図る上で重要な課題となっています。

瀬戸内海の漁業の位置付け(平成17年)

	全国	瀬戸内海漁業調整事務所所管内計	シェア	瀬戸内海区	シェア	太平洋南区(宮崎県を除く)	シェア
漁業生産量(百トン)	56,234	8,111	14.4%	4,830	8.6%	3,281	5.8%
漁業(百トン)	44,120	4,204	9.5%	1,986	4.5%	2,218	5.0%
養殖業(百トン)	12,113	3,907	32.3%	2,844	23.5%	1,063	8.8%
生産金額(億円)	14,986	3,299	22.0%	1,706	11.4%	1,593	10.6%
漁業(億円)	10,594	1,775	16.8%	1,012	9.6%	763	7.2%
養殖業(億円)	4,392	1,524	34.7%	694	15.8%	830	18.9%

資料:農林水産省統計部

「平成17年漁業・養殖業生産統計(概数)」

「平成17年漁業生産額」

中国四国農政局統計部

「平成17年漁業生産額(海面漁業・海面養殖業)(瀬戸内海区及び太平洋南区版)」

「平成17年海面漁業・養殖業生産量(概数)(瀬戸内海区及び太平洋南区版)」

瀬戸内海における主な魚種別・漁業種類別漁獲量及び養殖生産量並びに生産額(平成17年)

	瀬戸内海区		太平洋南区(宮崎県を除く)	
漁獲量計(百トン)	1,986		2,281	
魚種1位	かたくちいわし	360	かつお	408
魚種2位	しらす	211	さば類	362
魚種3位	いかなご	198	きはだ	215
上位3位シェア	38.7%		43.2%	
漁業種類1位	船びき網	704	中・小型まき網	517
漁業種類2位	小型底びき網	600	大・中型まき網	358
漁業種類3位	中・小型まき網	192	かつお一本釣	327
上位3位シェア	75.3%		52.7%	
生産額計(百万円)	101,179		76,330	
魚種1位	しらす	9,464	かつお	10,504
魚種2位	かれい類	6,596	めばち	9,517
魚種3位	いかなご	5,583	きはだ	8,009
上位3位シェア	21.4%		36.7%	
漁業種類1位	小型底びき網	43,182	まぐろ延縄	24,214
漁業種類2位	船びき網	22,527	大中型まき網	9,969
漁業種類3位	その他刺網	10,244	かつお一本釣	9,383
上位3位シェア	75.1%		57.1%	
養殖生産量計(百トン)	2,844		1,063	
第1位	かき類養殖	1,318	ぶり類養殖	521
第2位	のり類養殖	1,204	まだい類養殖	466
第3位	ぶり類養殖	152	その他漁類養殖	51
生産額計(百万円)	69,387		82,943	
第1位	のり類養殖	29,619	ぶり類養殖	34,262
第2位	かき類養殖	20,318	まだい類養殖	31,253
第3位	ぶり類養殖	9,865	その他漁類養殖	6,242

資料:中国四国農政局統計部

「平成17年漁業生産額(海面漁業・海面養殖業)(瀬戸内海区及び太平洋南区版)」

「平成17年海面漁業・養殖業生産量(概数)(瀬戸内海区及び太平洋南区版)」